

# 東京都千代田区しょうへい 千代田区立昌平小学校

市街地に学校と子育て機能等を立体的に整備

- ・狭い敷地を有効活用し、地域に必要な図書館、幼稚園等を整備
- ・地域の理解を得て、午前中は近隣公園の専用使用が可能に

- 学校規模 / 9学級 245名
- 複合施設(床面積) / 小学校 (9,057㎡)  
幼稚園 (851㎡)  
児童館 (1,388㎡)  
保育所 (243㎡)  
図書館 (188㎡)

■ 整備時期 / 平成8年

■ 構造 / RC造 地上6階 地下2階

## 施設整備に要した期間 (構想から工事まで)

施設	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
構想・計画	→						
設計			→	→			
工事			→	→	→	→	→

平成元年～公共施設適正配置検討懇談会  
平成3年12月公共施設適正配置構想を発表  
平成4年4月施設建設基本構想策定

平成4年6月～10月基本設計  
平成5年10月～平成6年3月実施設計  
平成6年8月～平成8年8月工事



商業地の狭い敷地に建つ6階建ての校舎と、隣接している公園

## 施設整備の背景

千代田区における厳しい土地事情の中で、学校の建替と併せて地域に必要な幼稚園、児童館、まちかど図書館を複合化した。その後、待機児童対策として、平成24年に施設を改修して保育所を整備した。

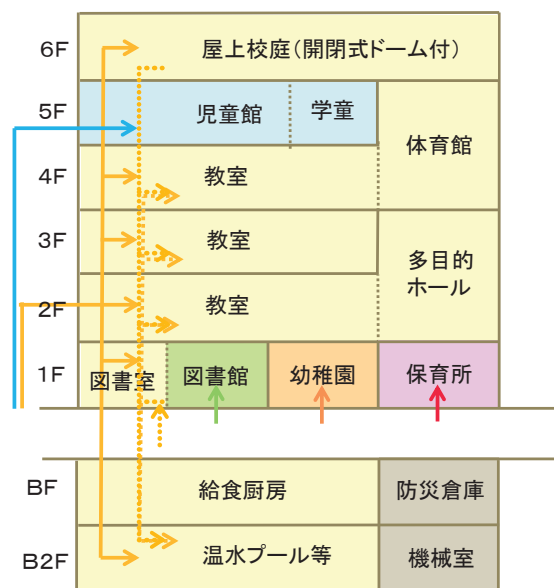
## 管理・運営の体制

施設	利用時間 (平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←	→			教育委員会	教育委員会
幼稚園	←	→			教育委員会	教育委員会
児童館	←	→			教育委員会	教育委員会
保育所	←	→			教育委員会	教育委員会
図書館	←	→			区長部局	区長部局

## 施設の配置・動線

- ・2～4階に学校の教室を、1階に図書館、幼稚園、保育所を配置。敷地を有効に活用するため、校庭を屋上に、温水プールを地下2階に配置。
- ・児童館を5階に設け、学校とは別の階段・エレベーターを使用することにより、管理区分を明確にしている。

<立面図>

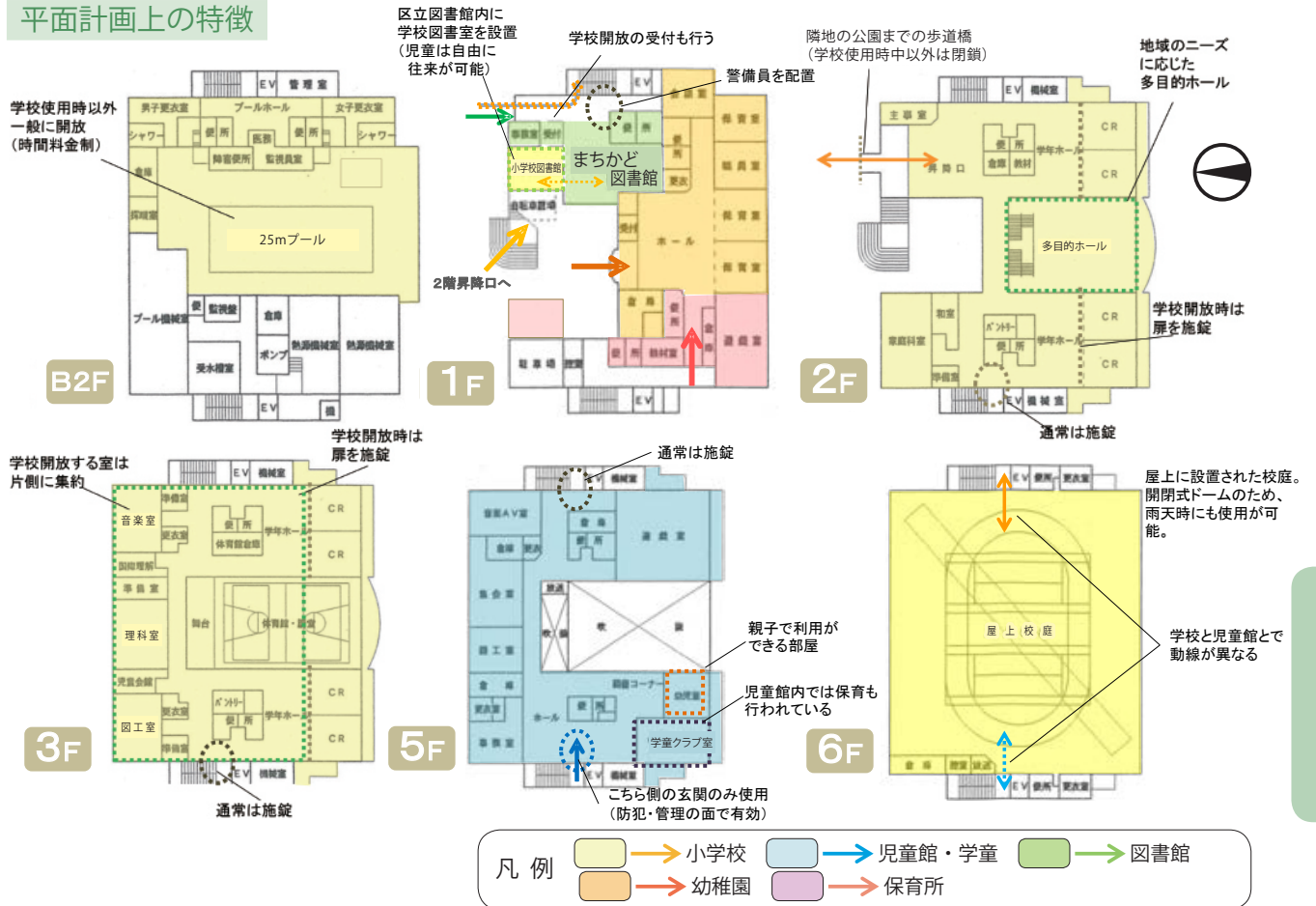


<配置図>



- 凡例
- → 小学校
  - → 児童館・学童
  - → 保育所
  - → 幼稚園
  - → 学校開放
  - → 図書館

## 平面計画上の特徴



現地調査

### 学校と図書館の交流

- 1階に区立図書館と学校図書室を一体的に整備しており、児童は休み時間等に図書館を使うことができる。
- 区立図書館の司書が、週3回、学校を訪れて読み聞かせなどを行っている。  
→同一施設という環境を生かし、公共施設の設備と人材を学校教育にも活用



区立図書館と一体的に整備された学校図書室

### 地域住民の利用へ配慮

- 地域住民が使いやすいように、地域の意見も取り入れ、多目的ホールや家庭科室を2階に配置
- 地下2階に配置された学校の屋内プールを、平日夜と土日祝日に一般開放している。
- 学校開放の際は、図書館職員が手続きを行うとともに、警備員が出入りの管理を行っており学校運営の負担軽減につながっている。



2層吹抜の多目的ホールは特に地域住民に評判が良い



学校時間外に屋内プールを地域に開放

### 多様な子供向け施設

- 1階に私立の保育所(0~2歳)と区立幼稚園(3~5歳)が整備されている。保育所は、待機児童対策のために、平成24年に施設を増設改修して整備されたもの。
- 5階には児童館が整備されており、学童保育は最大午後7時まで延長保育を行っている。そのため、都心の商業エリアに立地するこの施設に、保護者は安心して児童を預けることができる



1階に入っている幼稚園



5階部分全体を使った広い児童館

### 地域の協力による公園利用

- 地域の理解を得て、隣接した公園に門を設置。平日の午前中は幼児や児童が専用利用できるようになり、地域で安心して子供が遊べる場所が確保された。
- 児童は2階昇降口から、歩道橋を通して公園に直接アクセス可能  
→土地の少ない市街地において公共スペースを有効的に活用



地域住民の協力により隣接した公園に設置された門

### 委員の意見より

学校開放により校内を地域住民が自由に移動できるため、両者の間に垣根を作らない設計により地域に根差し地域に愛されているのではないかと。一方で、部品の調達やメンテナンス費用の増大に苦労しており、将来を考えて設計することの重要性を改めて認識させられた。